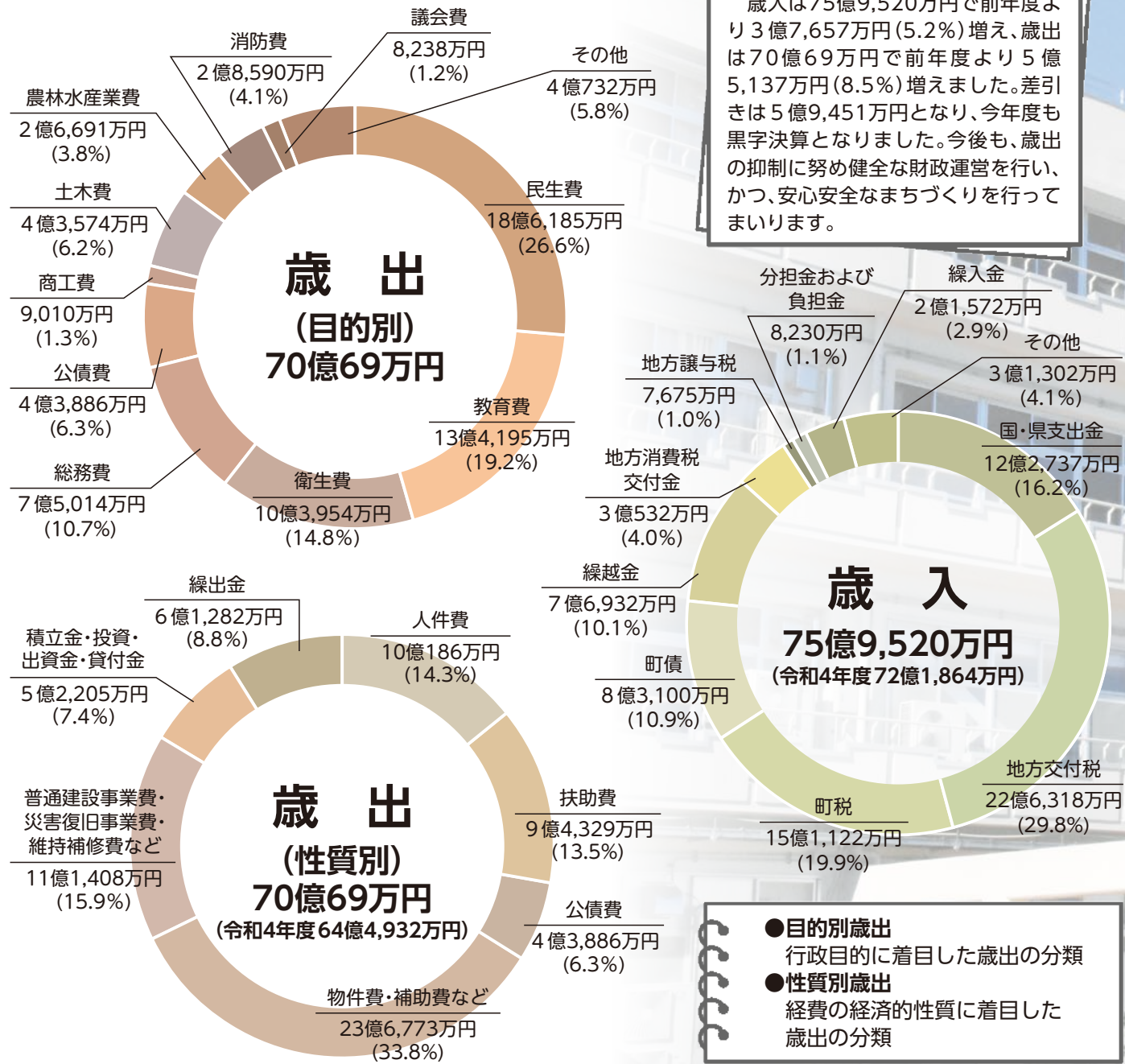


令和5年度 一般会計



中学校大規模改修や物価高騰支援を実施

令和5年度の町の決算は、施設の長寿命化や教育環境の向上のため、東庄中学校の大規模改修の実施や、あったかクーポン事業をはじめとした物価高騰支援を行うなど、子どもたちや生活者支援にかかわる事業にも多く使われました。町のお金がどのように使われているか、わかりやすく家計簿形式にまとめてみました。
(正確な数値は3ページにあります。)

東庄町の家計簿 一般会計を1000分の1にしてあります

収 入		支 出	
給 与 (町税・地方譲与税・その他交付金)	198万円	食 費 (人件費)	100万円
親からの仕送り (地方交付税・国県支出金)	349万円	医療費など (扶助費)	94万円
家賃収入 (分担金・負担金)	8万円	ローンの返済 (公債費)	44万円
貯金の取り崩し (繰入金)	22万円	光熱水費や通信費など (物件費・補助費など)	237万円
前年度からの繰越など (繰越金など)	100万円	家の建築・改修・修繕 (災害復旧費・普通建設事業費など)	112万円
ローン借入れ (町債)	83万円	貯金や投資 (積立金・投資・出資金・貸付金)	52万円
		子どもへの仕送り (繰出金)	61万円
収入合計	760万円	支出合計	700万円

家計簿に「ローン借入れ」や「ローンの返済」と書かれていますが、町の財政が赤字というわけではありません。

下の表を見てみると、町の財政の健全化判断比率が早期健全化基準を下回っており、町の財政が赤字ではないことが分かります。

健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生が必要かを判断する4つの財政指標のことです。

▶ 特別会計

特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計

会計名	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険	17億3,235万円	16億3,703万円	9,532万円
後期高齢者医療	2億177万円	2億79万円	98万円
食肉センター	1億8,801万円	1億2,893万円	5,908万円
訪問看護ステーション	3,569万円	2,809万円	760万円
介護保険	16億1,692万円	14億6,213万円	1億5,479万円

▶ 企業会計

地方公営企業法が適用される事業として区別される会計

会計名	収入	支出	損益	
水道事業会計	収益的収支	4億2,359万円	3億6,888万円	5,471万円
	資本的収支	0万円	5,686万円	△5,686万円
病院事業会計	収益的収支	10億8,790万円	10億6,811万円	1,979万円
	資本的収支	1億2,179万円	1億6,818万円	△4,639万円

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

東庄町の健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の赤字比率	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率 町すべての会計の赤字比率	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率 町債の返済がどれくらい負担になっているか	4.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率 将来どのくらいの負担が見込まれているか	—	350.0%	

借入金 (地方債現在高)

令和4年度末	令和5年度末
47億6,457万円	51億6,630万円

4億173万円
増額

預金 (財政調整基金現在高)

令和4年度末	令和5年度末
12億483万円	13億9,485万円

1億9,002万円
増額

資金不足比率	企業会計名	東庄町	経営健全化基準
資金不足比率 企業会計の赤字割合	水道会計事業	赤字なし	20.0%
	東庄病院企業会計	赤字なし	20.0%
	食肉センター特別会計	赤字なし	20.0%